やぶなべ会報

自然を見つめる「やぶなべ会」（青森）発行

誌　　名	やぶなべ会報
号/発行年/頁	29 / 2011 / 57
タイトル	大地震の前兆？(カラスの集団化)
著　者　名	石郷岡總一郎

大地震の前兆？（カラスの集団化）

東奥日報に「大震災の前兆？１月に大量のナマズ（2011年３月24日）」という記事が掲載されていた。これをきっかけに思い出した事が有る。

2011年3月上旬の6時半過ぎ頃（正確な日時は記録していないが7～10日頃と思う）、問屋町一丁目に有る勤務先周辺でカラスが多数たむろしていた。約20羽近くいただろう。通常は多くても数羽程度しか見かけない場所なので覚えていた。その際、以前の経験を思い出した。それは、「新潟中越沖地震（2007年7月16日）」が発生した同時刻頃に森の広場のグラウンド付近で経験した事である。その時もカラスが異常に集まり、落ち着きが無い行動をとっていた。「また、大地震が来なければ良いのだが…。」と感じたが、3月11日に東北地方太平洋沖地震が発生し、津波による大きな被害が生じた。通常とは異なるカラスの集団発生は、大地震の前兆行動なのだろうか？

同様に生物の異常行動の事例が多数集まれば、不正確ながら大地震の警戒警報になる可能性も有ると思う。もし、この会報をご覧の方で、同様な観察を行った方がいましたら、短報で構わないので、是非会報に投稿して欲しい。　　25代 石郷岡總一郎（2011年３月24日記）